

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 現場着工から1年～

記者発表資料

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）の建設工事は、昨年（平成19年）の3月30日に現場着工し、平成20年3月29日をもって、着工から1年が経過します。

平成17年3月29日の工事請負契約締結後、環境アセスメント、公有水面埋立承認等に係る手続き、漁業補償交渉等の諸課題を2年という短期間に無事解決し、現場着工となりましたが、その後、海底軟弱地盤の地盤改良（埋立部）や滑走路等の土台となる鋼製のジャケット製作（栈橋部、連絡誘導路部）を鋭意進め、工事を着実に進めてまいりました。

平成20年3月28日現在、埋立部においては、地盤改良工を全て完了し（最後となった埋立部のサンドドレーン工が3月27日に完了）、今後は、埋立部の外周護岸の築造工事が本格化します。また、栈橋部等においては、ジャケット19基の据え付けを完了し、引き続き、ジャケット製作、鋼管杭打設を最速で進めています。

平成22年10月末の供用に向け、発注者と請負者との連携・協力をさらに深め、最大限の知恵を出し合い、工事を進めていく予定です。

なお、工事の状況は、D滑走路展望台から見学することができます。（詳細については、HPで随時情報配信しています。第2、第4日曜日には、無料送迎バスを運行中）

着工から1年の施工実績

- ・ ジャケット（19基）据え付け：鋼材量約2.2万〔トン〕
- ・ 鋼管杭（234本）鋼管矢板（139本）打設：鋼材量約2.2万〔トン〕
- ・ 地盤改良等の砂（湾外産含む）：土量約1,100万〔m³〕

平成20年3月28日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

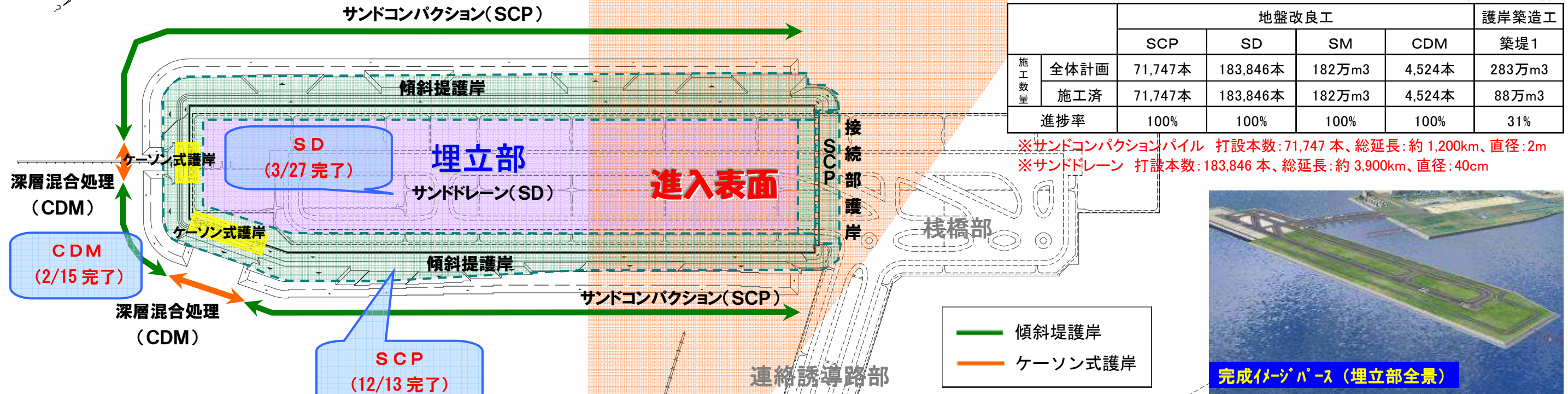
竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
都庁記者クラブ 千葉県政記者クラブ 東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 ^{しけ}四家
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 5F
電話 03-5756-6573
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

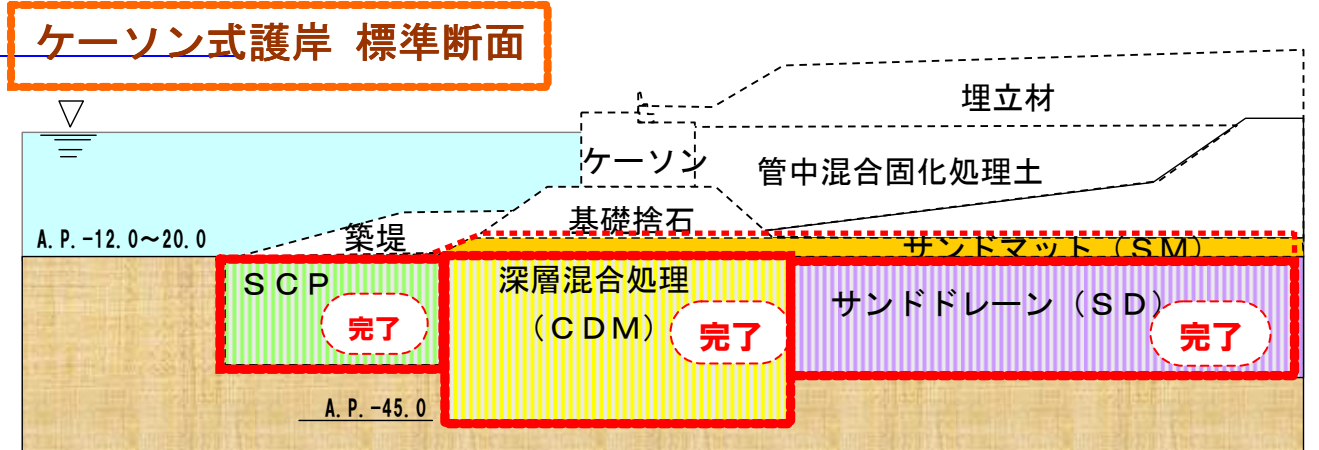
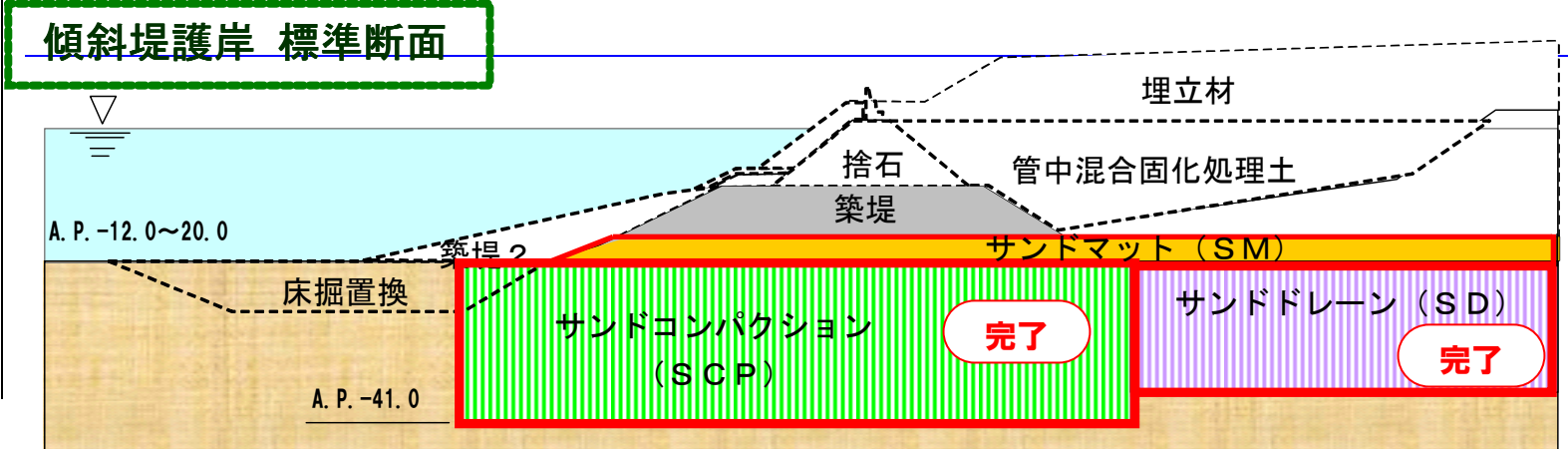
【D滑走路建設工事の状況】 ～埋立部 地盤改良および護岸築造～

2008年3月28日現在

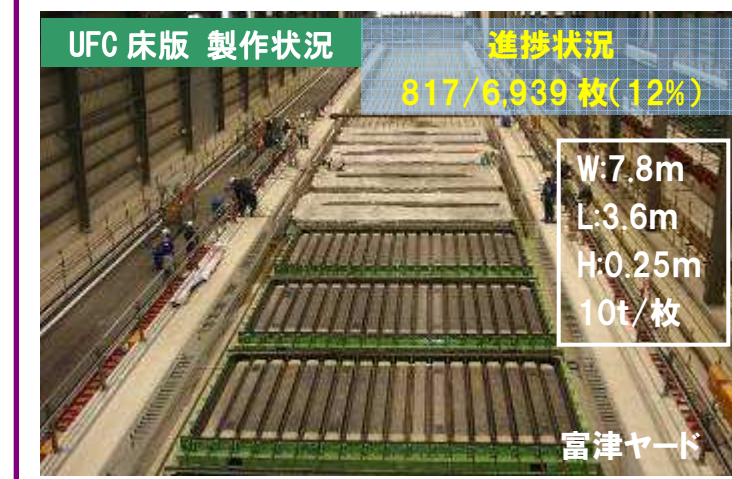
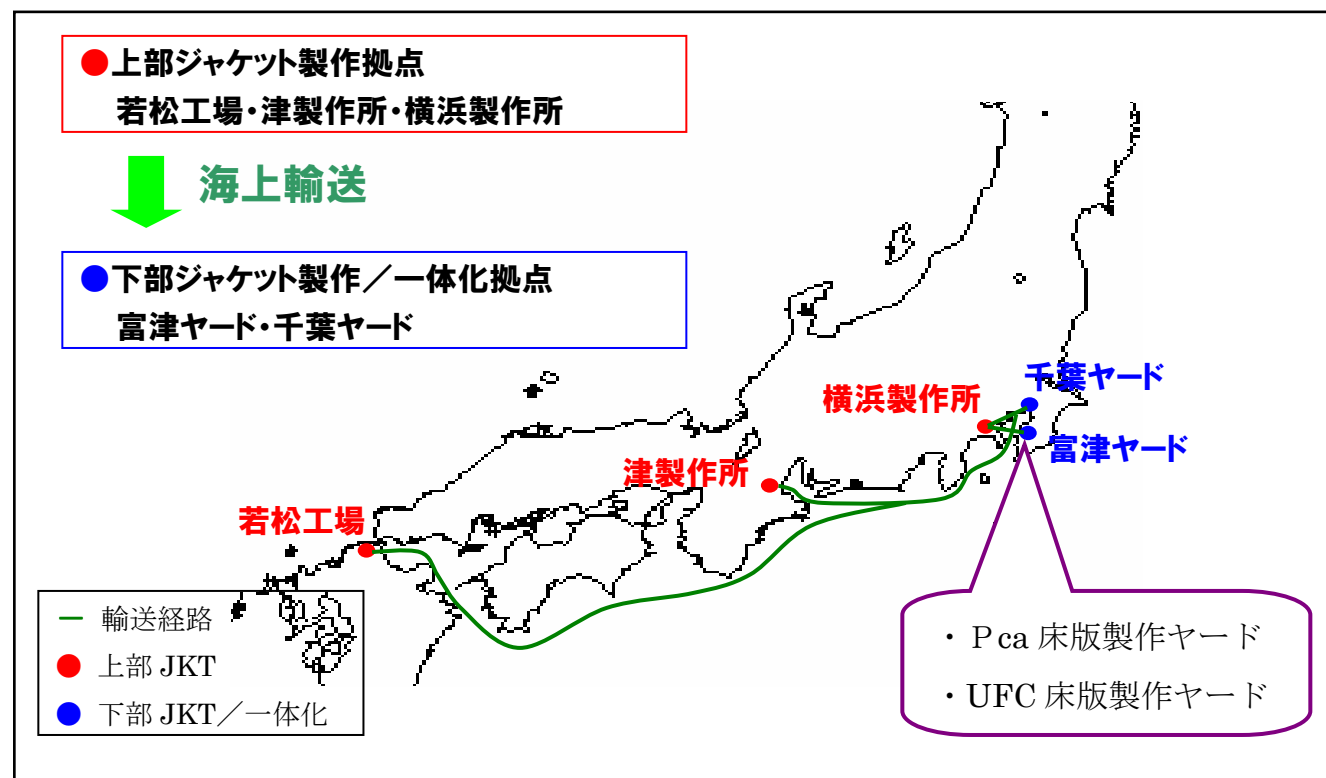


		地盤改良工				護岸築造工
		SCP	SD	SM	CDM	築堤1
施工数量	全体計画	71,747本	183,846本	182万m ³	4,524本	283万m ³
	施工済	71,747本	183,846本	182万m ³	4,524本	88万m ³
進捗率		100%	100%	100%	100%	31%

※サンドコンパクションパイル 打設本数:71,747本、総延長:約1,200km、直径:2m
 ※サンドドレーン 打設本数:183,846本、総延長:約3,900km、直径:40cm



【D滑走路建設工事の状況】 ～棧橋部・連絡誘導路部 ジャケット・床版製作の流れ～

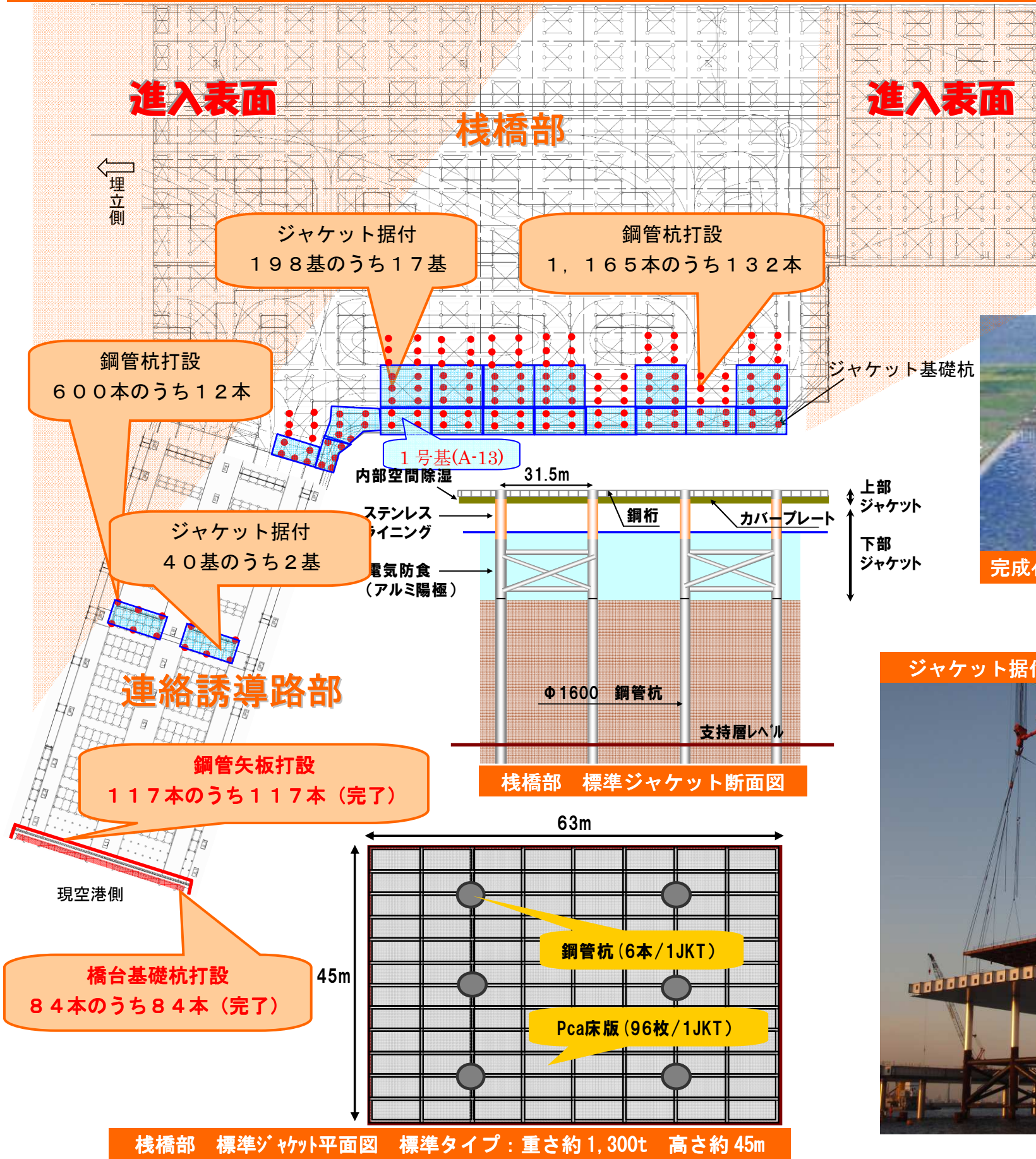


【D滑走路建設工事の状況】 ～ 棧橋部・連絡誘導路部 基礎杭打設およびジャケット据付～

2008年3月28日現在

施工数量	全体計画	鋼管杭打設				ジャケット据付		
		棧橋部 ジャケット基礎杭	連絡誘導路部 ジャケット基礎杭	連絡誘導路部		棧橋部	連絡誘導路部	
				鋼管矢板	橋台基礎杭			
		1,165本	600本	117本	84本	198基	40基	
		138本	12本	117本	84本	17基	2基	
		進捗率	12%	2%	100%	100%	9%	5%

● 打設済みの鋼管杭
 ■ 据付済みのジャケット



1. 施工状況

1. 地盤改良



◆サンドコンパクション船



平成19年4月～平成19年12月に護岸下の地盤改良工を施工。最大14隻が稼働

◆サンドドレーン船



平成19年7月～平成20年3月に護岸内側の地盤改良工を施工。最大3隻が稼働

◆深層混合処理船



平成19年9月～平成20年2月に護岸下の地盤改良工を施工。最大4隻が稼働

2. 護岸造成・ジャケット据え付け



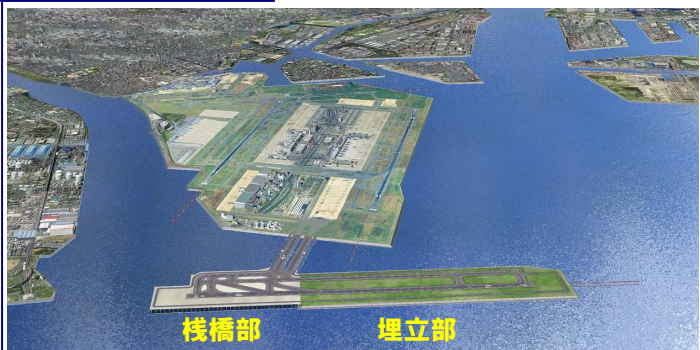
◆栈橋部 ジャケット製作



◆連絡誘導路部 ジャケット製作



3. 完成イメージ



◆埋立部 護岸築造工事



平成20年秋頃の護岸概成を目指し、護岸築造工事を本格化

◆栈橋部 ジャケット据え付け



約2年後の据え付け完了を目指します。